

木造地蔵菩薩立像



■ 種別

有形文化財

彫刻

■ 指定年月日

平成8年1月5日

■ 所在地

横堀公民館(元東福寺)^{とうふくじ}

(新和4-620)

室町時代末期の作と思われる仏像で、作者は快慶（運慶の弟）の系統の人物ではないかといわれています。一本の木から彫られた一本造りの仏像で、像の彫りも浅く、五頭身からなっており、形も整い、ノミ運びに無駄のない見事な彫刻です。

元東福寺の宗派は新義真言宗^{しんぎしんごんしゅう}で戸ヶ崎村西福寺門徒の寺院として建立されました。如意山^{にょいざん}宝珠院東福寺^{ほうじゅいん}と号し、神仏分離の後、明治8年5月に廃寺となり、昭和33年の江戸川の河川改修に伴い、本尊として安置されていた地蔵菩薩と、ほかに三体の仏像が現在の元東福寺に移転されました。